

二〇二二（令和四）年度 三重短期大学一般選抜入試（法経科第2部）入学試験（小論文）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

『税と公助 置き去りの将来世代』 著者 伊藤裕香子（朝日新書 二〇二二）より。

問一 傍線部A「税は形を変えながらも、国家の発展とともに存在してきた。」とあるが、本文中で税の形はどのように変化してきたと説明されているか、二〇〇字以内でまとめなさい。

問二 傍線部B「1986年、国債の発行残高が140兆円前後のころだ。35年後の2021年は、この7倍に積み上がっている。」とあるが、日本の財政の現状に対するあなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。ただし文章の中に、国債、財政、政府という語句をすべて入れること。